

大学の世界展開力強化事業 取組実績 大阪大学

【構想の名称】(タイプA-Ⅱ)

「アジア平和＝人間の安全保障大学連合」を通じた次世代高品位政策リーダーの育成。

【プログラムの目的・養成する人材像】

国際社会が直面する複雑で困難な諸問題＝紛争、貧困、差別、疾病等＝を克服するために、高い理想と柔軟な発想をもち、的確な知識を身につけ、隣人とともに手を携え、協力して取り組める次世代の有為な人材を養成する。

【構想の概要】

日本と東南アジアの9大学が連携し、平和構築、平和共生、多文化共生、健康開発を重点テーマとしつつ、共通課題に協力して取り組む精神と方法を学ぶ場の構築を通じて、地域社会ひいては地球社会の未来を担う政策リーダーを育成する。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

〈キックオフ・シンポジウム、1月28日〉

大学間連携体制の構築

日本側(大阪大学・広島大学・長崎大学・名桜大学)担当者が、デ・ラ・サール大学、パヤップ大学、シアークアラ大学、東ティモール国立大学を訪問するとともに、左記4大学にナンヤン工科大学を加えた東南アジア5大学担当者が大阪大学と広島大学を訪問し、事業構想、協定などについて協議を行った。

また、日本側・東南アジア側全連携大学が集まって全体会議を実施し、併せてキックオフ・シンポジウムを開催することによって、連携体制を構築した。

さらに、日本側4大学は、「アジア平和と人間の安全保障大学コンソーシアム」の設立に向けて協議を重ね、準備を行った。



■ 実施した交流プログラムの概要、今後の開始に向けた準備状況

〈パヤップ大学での短期プログラム〉



サブ・プログラム(受入)

大阪大学にて、東南アジアから受け入れた学生を対象として、10日間の「平和と人間の安全保障に関する大阪短期プログラム」を実施した。また、同プログラムにおいては広島にて平和学習を行った。

サブ・プログラム(派遣)

パヤップ大学(タイ)にて、日本から派遣した学生を対象として、2週間の「平和と人間の安全保障に関するチェンマイ短期プログラム」を実施した。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

日本人学生の派遣

厳正な審査を経て、日本の連携大学からサブ・プログラム(派遣)に6名を派遣した。(全派遣者数は16名。)

外国人留学生の受入れ

厳正な審査を経て、東南アジアの連携大学からサブ・プログラム(受入)に10名を受け入れた。

	H23	H24	H25	H26	H27
学生の派遣	6	20	20	20	20
学生の受入	10	20	20	20	20

注)H23は実績、H24以降は計画。

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

大阪大学が部局間協定を締結

大阪大学は、東南アジア4大学と先行して部局間学術協定を締結し、授業料不徴収、単位互換などを含めた学生交流に関する覚え書きを交わした。

留学生受け入れ態勢の充実

学習用関連書籍の購入、学生用コンピューターの増設、冬期の寒さ対策を行う等、受入態勢を充実させた。

運営事務局及びサブ・オフィスの設置

代表校である大阪大学に運営事務局を設置するとともに、国内連携大学2校にサブ・オフィスを設置し、留学受入・派遣サポート体制を構築した。

■ 教育内容の可視化・成果の普及

キックオフ・シンポジウム、ホームページ

海外連携大学からのゲストを交え、キックオフ・シンポジウムを開催した他、事業のホームページを開設し、プログラムの普及を図った。

本事業ホームページ: <http://peace-hs.osipp.osaka-u.ac.jp/index.html>